

大丈夫かなあオリンピック・コロナワクチン接種にひとこと

7月を迎えました。

本来なら暑く楽しい夏となり、海へ山へと出かける計画を作ったりと、心躍る季節のはずですが……。残念ながら、ダメですね。

昨年と大きく異なる点は、一年延期されたオリンピックが今月20日過ぎに開催されるということです。何の対策も行わず、政府やオリンピック関係者たちは、開催に全力を注ぎ、口では国民の安全安心が一番とか、責任をもって事を進めますと繰り返すだけです。

鬼の首でも取ったかのような大騒ぎで、開会を迎えるのでしょうか。

『……を検討します。』という言葉は、何もしないで時が解決してくれるからとの思いが含まれているのでしょうか？



解決策の唯一のものであったワクチン接種も正に突貫工事のように思いつところ全てを動員して行っているようですが、予約枠が思った以上に余ったりと、ちぐはぐな歪が出ております。

若年者むけのワクチンの各自治体への分配も、先月下旬になってやっと潤沢になったようです。

今、我が国がやるべき事は、ワクチンの自国内での生産と、治療薬の開発をいかにスピーディーに行うかでしょう。

我が国の技術力があれば、簡単な事であると考えます。

また為政者は、専門家集団の意見を謙虚に聞き入れ、それをきちんと様々な政策立案・実行に生かしていくという姿勢が必要なのです。

大臣イコールその道のベテランでは無いのです。

思い違いを理解しない大臣が居るようなので、書いてしまいました。



コロナワクチン接種は、受けた方が良いと思われます。副反応が大きく報道される為、不安に陥る方もあるでしょうが、自己の体に抗体を持っている方が安心です。

様々な結果などについては、次号で解説します。お楽しみに。

夏負け、脱水、寝冷え等しないように気を付けましょう。

院長 清治 邦夫